

第2期 北区地域福祉計画

令和5年度の成果と今後の課題

P.1

北区役所福祉課

2024/5/30

第2期大阪市北区地域福祉計画(R2～R6)

基本理念

人と人とのつながりと支え合いのまち北区

～変化する社会に適応した地域づくりをめざして～

取組みの柱

3つの柱

- 【1】 地域でつながり支え合う活動の支援
- 【2】 “きめ細かい”相談・支援の充実
- 【3】 ふくしのまなび

6つの視点

大切にしたい視点

新 気にかける地域づくり

だれもが「受け手」であり「担い手」

多様性を理解し共生する地域

だれもがつながるまち

団体(地域)や組織の強みや特性を生かした交流や連携

ふくしの学びから生まれた場づくり

令和4年6月30日付帯決議

地域福祉の推進について

地域共生社会の実現に向けて、

北区においては、包括的支援と参加・協働を推進し、

①「地域でつながり支え合う活動の支援」

②「“きめの細かい”相談・支援の充実」

③「ふくしのまなび」



の3本の柱に取り組んでいます。

★取組目標

1 地域でつながり支え合う活動の支援

- 地域での生活課題の発見
- 課題解決に向けた取り組み
- 見守り・助け合い活動
- 誰もがつながり支え合える関係づくり
- 多様な主体の福祉活動への参画
- 地域との交流ができる環境づくり

▼将来イメージ▼

- ◆ 地域福祉活動の推進
- ◆ 災害や緊急時への備えが充実
- ◆ 「つながり」の拡充



1 地域でつながり支え合う活動の支援

①地域課題の解決に向けた取り組み

- ・小地域福祉活動計画に基づく活動の推進
- ・交流の場や居場所づくりを推進
- ・マンションコミュニティの活性化
- ・区民へ情報提供を促進
- ・地域福祉に関する人材育成など

②災害時にも支え合えるつながりづくり

- ・見守り活動の推進、災害時の避難支援
- ・災害時等の要援護者支援の取り組み強化
- ・災害時における関係機関等との連携
- ・災害ボランティアセンターの啓発、
- ・災害ボランティアの育成

③地域福祉活動への多様な主体の参画と協働の推進

- ・多様な主体との関係づくり
- ・企業との公民連携
- ・地域福祉の視点の啓発活動・情報提供



1. 地域でつながり支え合う活動の支援(3-1)

R5実績

①地域課題の解決に向けた取り組み

◆地域でつながり支え合う活動の支援

ふれあい喫茶・食事サービス・いきいき百歳体操・はつらつ脳活性化教室を開催

コロナ禍を経験し、地域の支え合いや事業継続の大切さを学び 会食や配食、いきいき百歳体操等の教室を各地域が工夫を重ねて事業を継続させてきた

◆小地域福祉活動計画に基づく活動の推進

地域における実情・特性に即した課題の解決に向けた活動の支援

大淀西地域、豊崎東地域において第2期小地域福祉活動の策定を行う(R5年度)

◆マンションコミュニティの形成に向けた支援

区内の約9割がマンション世帯であることを踏まえ、マンション内の居住者同士のつながりづくりや、マンション内外の交流、連携を促進し、地域コミュニティの活性化を図る参加・参画を促す事業を推進【R4:150棟、R5:170棟】

1. 地域でつながり支え合う活動の支援(3-2)

R5実績 ②災害時にも支え合えるつながりづくり

- ◆ 避難行動要支援者名簿への搭載の同意確認及び名簿の更新(同意書未返送の方には訪問し事業主旨説明と生活ニーズの聞き取り)を行い要援護者支援体制づくりの取り組みを進めた
- ◆ 「大阪北区 ジシン本」を活用し、各講座を区役所及び地域に出向いて開催した(支援含む)
【R4:64回、R5:60回】
- ◆ マンション合同防災訓練、防災体験会を通じて、避難行動要支援者の安否確認、避難行動支援を実践した
- ◆ 災害時に迅速に協力いただける防災パートナー登録制度の継続 登録数102件
(R5年度末時点)

1. 地域でつながり支え合う活動の支援(3-3)

R5実績 ③地域福祉活動への多様な主体の参画と協働の推進

- ◆ 区社協と企業による常設のフードドライブ・日用品ドライブを充実した。また、各種団体よりのフードパントリー支援の充実を図った
- ◆ ICTリテラシー学習機会の提供のためのスマホ教室等の開催(区内19地域中17地域)
- ◆ 「スポーツ」というキーワードで障がいの有無に関係なく一緒に楽しめる交流を深める場を構築
 - ・ パラスポーツ競技展開催 令和5年8月21日～8月25日 区民交流プラザ
 - ・ ニュースポーツデー開催 令和6年2月18日 区民センター2階ホール
(参加者約100名(運営スタッフ含む))

★取組目標

2 “きめの細かい” 相談・支援の充実

- 社会的な孤立の防止、情報提供の推進
- 相談体制の充実、効果的な情報発信
- 制度の狭間、複合的な課題を抱えた世帯の支援
- 施策横断的な課題解決に向けた取り組み



▼将来イメージ▼

- 福祉的な活動が増加し、包括的な相談支援体制が進む
- 虐待防止、判断能力不十分な人への対応が進む
- 子ども・青少年が暮らしやすい取り組みが進む

2 “きめの細かい”相談・支援の充実

①相談支援体制の充実

- ・CSW、SSW、地域福祉コーディネーターの配置、身近な相談窓口機能の強化
- ・包括的な支援について、関係機関等と連携
- ・情報発信強化



②安心して暮らすことのできる支援の充実

- ・福祉コミュニティづくりの継続
- ・区民のサロン活動等の支援
- ・ふれあい喫茶等の小地域福祉活動や健康増進活動への支援
- ・相談支援機関や事業者等との連携、相談・支援の充実
- ・障がいに関する専門機関との連携強化
- ・当事者の自発的・自主的な活動を支援、地域において参加できる場づくりの推進
- ・認知症相談窓口の周知、認知症に関する正しい知識の普及・啓発等
- ・取り組みや相談窓口等の情報を、マンション等と連携し周知

③虐待防止と権利擁護支援の強化

- ・虐待の早期発見に向けた啓発
- ・関係機関連携、ネットワークづくりの推進
- ・成年後見制度や日常生活自立支援事業の周知と利用促進 など



④子ども、青少年が健やかに育つための支援の充実

- ・安心して子どもを産み育てられる地域の取り組みの支援
- ・支援機関の連携
- ・子育てに関するさまざまな制度や取り組みの充実と情報発信



2. “きめの細かい”相談・支援の充実(4-1)

R5実績

①相談支援体制の充実

- ◆SSWを配置し不登校やひきこもり等の課題解決に向けた支援体制づくりを充実した 配置4名計94時間/週 支援のべ児童生徒数 1,186人
(小学校 702人、中学校 484人)
- ◆こどもサポートネット事業において学校と区役所が連携し、SSW、こどもサポート推進員による支援を行い、教育面だけではなく福祉面についての支援の検討を行った
- ◆「重大な児童虐待ゼロ」をめざし、プレススクールワーカーによる保育施設へのアウトリーチ事業を実施し、施設職員のスキルアップを図った
【相談件数 419件 園内研修 23回】
- ◆北区地域子育て連絡会を開催するとともに、身近な地域での「出張イベント、相談会」を開催した【会議開催2回 出張イベント6地域 6回】
- ◆CSWの配置、包括的な支援の充実、スキルアップと新たなネットワーク形成、地域福祉コーディネーターや地域福祉関係者により発見力・見守り力の強化、連絡会(年11回)・事例検討会(年6回)の開催



P.11

2. “きめの細かい”相談・支援の充実(4-2)

R5実績

②安心して暮らすことのできる支援の充実

◆まちともサービスによる生活支援の取り組み

相談件数 12,731件、利用会員数 186名、サポート会員数 97名

利用回数 1,451回、サポート会員養成講座 7回

◆どこでも気軽に行えるシニア向け体操 北ワハハ体操体験会の実施(2回)

◆地域福祉コーディネーターと協働し、分譲マンションへの定期的なアプローチ及び情報提供(年3回×14ヶ所)を行い、また、分譲マンションなど、集合住宅における居場所づくりの支援及びヒアリングを実施した

【居場所づくり支援:2件 ヒアリング調査対象:1件】

◆大阪市マンション管理支援機構と協働し、「マンション支援勉強会」を開催した

P.12

2. “きめの細かい”相談・支援の充実(4-3)

③虐待防止と権利擁護支援の強化

R5実績

- ◆ 保育施設職員を対象に、「子ども虐待の現状と対応」を開催し、虐待対応にかかる認識の共有化を図った
- ◆ 要保護児童対策地域協議会代表者会議において、「児童の権利擁護～子ども権利条約の視点」について研修会を実施し、時代の変化に対応した正しい知識の共有に努めた(R5.8実施)
- ◆ 北区主任児童委員連絡会において、「児童虐待」をテーマとして研修会を実施し、北区の児童虐待の状況や子どもの権利条約4つの原則などを学び、当該ケースの対応や相談窓口等について理解を深めた(R6.3)
- ◆ 北区障がい者自立支援協議会と連携し区役所内1階ロビーにて、虐待防止の動画を放映し、虐待防止の啓発に努めた
- ◆ 高齢者虐待防止の取組みとして、北区障がい者・高齢者虐待防止連絡会議と北区認知症高齢者支援ネットワーク連絡会(にこりんく)との共催で、区内の医療職・介護職・民生委員等に向けた高齢者虐待防止啓発研修会「認知症高齢者の虐待防止・養護者支援について」を実施し、専門職や地域への虐待防止に関する理解を深めた



P.13

2. “きめの細かい”相談・支援の充実(4-4)

R5実績 ④子ども、青少年が健やかに育つための支援の充実

- ◆ 母親の心身のケアや育児をサポートし、産後の安心して子育てができる支援体制の確保として産後ケアの利用を積極的に勧めた
- ◆ 5か国語からなる子育て応援ハンドブック(区社協が作成)を日本語が読めない外国籍住民や地域会館、保育所などに配布を行い子育て支援情報の拡大を図った
- ◆ 北区役所ホームページにおいて、「子育て支援情報」を定期的に更新し、子育てに関するさまざまな情報の周知を図った【継続】
- ◆ 地域SNSアプリ「ピアッツァ」を活用した情報発信(週1回定期的に更新)【継続実施】
- ◆ 保育フェアを区ホームページに常設し、保育施設情報・申込方法等の周知を図った。
また「保育ミニ講座」を実施し、保育施設情報・申込方法等について、講座形式で区民の方へ情報提供を行い、さらに、年度途中での入所の充実を図った。



★取組目標

3 ふくしのまなび

- 福祉意識の向上、地域福祉への理解促進
- 一人ひとりの人権を尊重し、共生していくことのできる地域づくり
- 地域活動の推進の人材育成・確保

▼将来イメージ▼

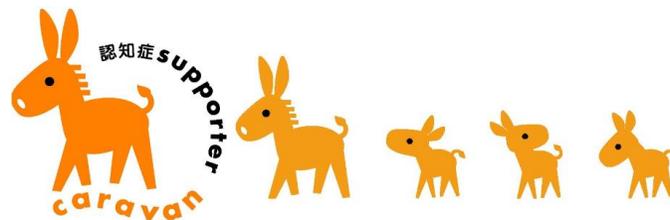
- 区民の地域福祉への関心度が高まり、情報伝達スピードが向上する
- 地域福祉活動への参加者増加し、活動の活発化



3 ふくしのまなび

①福祉マインド(意識)の向上

- ・福祉教育の推進
- ・認知症サポーター養成講座
- ・情報発信の強化
- ・多様性を尊重し、認め合い、ともに暮らす地域づくりを考える場づくり
- ・生活課題について、我が事・丸ごとで受け止め、自発的な活動を推進する



②福祉人材の育成支援

- ・ボランティア・市民活動の相談窓口の充実
- ・地域の住民の地域福祉活動への参画
- ・認知症への理解や取り組みを進めている企業や団体を増やす取り組み
- ・認知症の人にやさしいまちづくり
- ・福祉教育・ボランティア学習のプログラムの充実
- ・近隣の大学・専門学校などと連携し、ボランティア活動への参画推進
- ・若年世代のボランティア活動への参加促進
- ・同世代が抱える課題の共有、課題解決力の向上



3. ふくしのまなび(2-1)

R5実績

①福祉マインド(意識)の向上

- ◆福祉教育の継続実施及び研修等の推進
- ◆認知症サポーター養成講座を(小・中学校・企業・地域)で開催した計20回
- ◆生活支援コーディネーターが開催する第2層協議体への地域住民の参画および意見交換を実施した(3/15、3/26)
- ◆区内大学と連携し、子どもの居場所事業ボランティア活動を推進するなど連携を強化した
- ◆区内大学生の地域インタビューの機会を作り、地域清掃などボランティア活動への参画を推進した
- ◆地域子育てサロンにおいて学生ボランティアの参画を推進した

P.17

3. ふくしのまなび(2-2)

②福祉人材の育成支援

R5実績

- ◆フードドライブ、フードパントリーの取り組みに企業、各種団体、個人ボランティアが多く参画し、社会貢献活動・ボランティア活動が充実した
- ◆企業と共同による、ボランティア参画イベントを推進した
- ◆北ボラまつり開催(11/19開催 200名参加)
- ◆手話奉仕員養成講座(初級)受講者募集・講習会の開催(主催:市聴言障害者協会・主管:北区聴言障害者協会)【R5より追記:北区受付108名】
- ◆区役所福祉課において、社会福祉士等をめざす実習生(大学生)を受け入れ、福祉行政を担う新たな人材の育成を推進した
- ◆福祉課事務職員の社会福祉主事資格認定通信課程(公務員課程)の受講
- ◆総合相談窓口(つながる場)の認知度を高めるため、福祉関係部署以外の区役所職員も含む全体研修会を実施し、問題意識の共有と区役所内の連携強化を図った。(R6年3月)

P.18

今後の課題・進め方

◆ 地域活動について

多様な福祉活動への参画、地域との交流を継続できるような環境づくりの進展、
地域活動の情報共有の活発化によるモチベーションの保持

◆ 情報発信について

ICTの活用と併せて、高齢者や障がい者ど情報弱者に対する従来型の情報
発信（広報紙や掲示板など）の継続＋スマホ教室

◆ きめの細かい相談・支援について

様々な専門職と連携したアウトリーチの強化、虐待未然防止に向けた関係機
関のより一層の連携、支援できるネットワークづくりの充実

◆ 次期計画の策定に向けて

現行計画の取組や課題について、検証と構築を繰り返して、意見聴取や区役所
内会議や策定会議等での議論を踏まえ、計画策定を進めていく。